

北海道磁気印刷株式会社

事業計画名 最新POD機導入による、自社製品「ハリセンス」の高品質化・小ロット多品種に対応



人気のハリセンス



高速レーザープリンター



自社開発商品 「ハリセンス」の小ロット受注が可能に!

テレホンカードの需要が拡大していた1989年、プリペイドカード印刷の専門会社として設立された北海道磁気印刷(株)。機を見るに敏な社風は健在で、以後、QUOカードの絵柄の印刷はもちろん、プラスアルファのアイデアを付加した各種の独自商品を開発してきた。

今回の事業では、同社が開発、特許を持つ「ハリセンス」の印刷品質を高め、同時に小ロットでの受注でも採算が取れる体制を作るため、最新の高速レーザープリンターを導入。これにより、手近なグッズとして個人や小規模団体からの受注が可能になり、同商品のますますの認知度アップが図れるようになったほか、作業効率が向上したため納期短縮も実現。また、精密な印刷性能によりQRコードの掲載が可能になり、情報媒体としての価値も高まった。

提案型営業で世の中を楽しくしたい

叩けばハリセン。揚げばPR扇子!

同社が開発して特許を持つ「ハリセンス」は、スポーツ・観光に大活躍している。畳んだ状態で手に打ち付けるとバン!バン!音が出るため、スポーツ観戦における手ごろな応援グッズとしての人気が高く、道内にとどまらない多くの採用実績がある。印刷面にピーアール内容を自由にデザインできるのは販促用の団扇と同じだが、閉じると持ち運びの邪魔にならないのが、提供側にも受け取り側にも大きなメリットになる。

又、QRコードを印刷することによりハリセンスから動画サイトへの誘導が可能となったことを武器に、今後は、外国人向けも含めた観光のピーアール媒体として、またはお土産品として、各市町村での採用なども推進したい構え。受注は10個から可能だ。



畳んだ状態のハリセンス

QUOカード・グリーティングを考案中

現在、中島社長が中心になって開発している次のアイデア商品がQUOカードを使ったグリーティングカード。オルゴール付きや飛び出すカードなど、趣向を凝らしたグリーティングカードが市場をにぎわす中、企業の販促や個人の贈答用のニーズに合わせ、QUOカードを組み込んだ形の楽しいグリーティングの形を提案していきたいと考えている。

また、同社の強みであるQUOカード本体の印刷においてもビジュアル等に工夫を凝らし、相乗効果で需要の開拓を目指す。



なかじま よしゆき
代表取締役 **中島 善行**

当社の強みは、とにかく「アイデア」です。言われたことだけやるのではなく、もっとよくできないか、もっと楽しくできないか、お客様のために知恵を絞り、積極的に提案する。それが形になって、より大きな販促効果が得られたらこんなうれしいことはありません。だから、考える頭を持った社員たちが当社の宝なんです。これからも彼らと世の中を楽しくする仕事をしていきたいですね。

TOPIX

プラスアルファのアイデアで印刷を面白く!

第7回「北のペーパーデザインコンテスト」最優秀賞のハリセンスのほか、温度変化で絵が変わる「カメレオンクオカード」も同社の特許製品。また、どの野線からどのように折り曲げてもムリなくきれいに折り畳むことができる用紙「キララ折り」も主力製品だ。



金箔の豪華なカード、インパクトがあるうえ実用的。

COMPANY DATA

北海道磁気印刷株式会社

TEL.011-640-2221 FAX.011-640-2111
https://www.hmpjiki.co.jp

住 所 北海道札幌市中央区北2条西20丁目2番33号
代表者名 中島 善行
資本金 4,000万円
設 立 昭和63年1月
事業内容 QUOカード・図書カード・IDカード・サーマルカード
電子マネー型EJOICAセレクトギフト印刷 他